

目標1 心豊かに暮らせるまちづくり

私たちが元気で輝いているためには、ものの豊かさばかりでなく、日々心豊かに暮らせることが大切です。特に、感動、夢、自信といった心の豊かさは、私たちが元気で輝いているための源です。

このため、将来を担う子どもたちが、人間性豊かに成長できる環境づくりを推進するとともに、私たち一人ひとりが自分のライフスタイルにあわせて、学び、楽しみ、そして文化や芸術にふれることのできる潤いのあるまちづくりを進めます。

(1) 地域連携による青少年の健全育成

青少年は社会の大切な宝であり、青少年が生き生きと成長していく姿は、私たちに夢を与えると同時に、将来の街づくりへの意欲を高めます。また、青少年は、これからの本市を担っていく貴重な人材でもあります。

このため、家庭、学校、地域、行政が連携して市全体で青少年の健全育成に取り組んでいくこととし、その指針となる青少年健全育成プランを策定するとともに、制度や組織の枠を越えて、関係者間のコミュニケーションの促進を図ります。特に、地域での取り組みが大切であることから、地域において指導的な役割を果たす人材の確保、養成を図り、その活動を支援していきます。

さらに、青少年が社会活動や地域活動等を通じて、その個性を發揮しつつ、さまざまな事柄を体験し学習することができる環境の整備に努めます。

(2) 学校教育の充実

学校教育は人間形成に重要な役割を担っており、生命を尊重する心、社会性、倫理観や正義感、美しいものや自然に感動する心等の豊かな人間性の育成を目指し、「心の教育」や「生きる力の教育」が推進されています。

今後も、児童、生徒一人ひとりの個性や能力に応じてよりきめ細かな指導に努めるとともに、基礎学力の充実を図り、高度情報化や国際化など、これからの時代に対応できる人材の育成に努めます。

また、自然環境や伝統文化を生かした「ふるさと学習」の推進を図り、子どもたちに郷土の良さを伝えることで郷土を愛するたくましい「周南っ子」を育てていきます。

さらに、多様性と柔軟性に富む学校とするために、学校運営の改善に努めるとともに、学校間及び学校と地域との連携を図ります。

(3) 生涯学習の推進

生涯にわたって学ぶことは、私たちの活躍の場を広げると同時に、好奇心を満たし、達成感を得るなど、より豊かで充実した人生を送るために欠かせないことです。

このため、専門性の高い内容や職業能力に資する内容をも含んだ、さまざまな学習ニーズに対応するため、地域の高等教育機関等と連携し、生涯学習センターや公民館、市民交流センター等で開講される講座や学級の充実を図るとともに、各種学習情報の提供に努めます。

また、市民の自主的な講座や教室の開催を支援するなど、学習機会の拡充を図ります。

(4) 文化・芸術活動の促進

優れた文化・芸術に接することや自らが文化・芸術活動に参加することは、ゆとりある人生や豊かな暮らしを送っていく上で欠かせないものとなっています。また、個性豊かな地域文化に触れることは、私たちが周南市民としての誇りと一体感をもって活躍することに繋がります。

このため、より多くの市民がさまざまな芸能や音楽、優れた美術品等を鑑賞できる機会の拡充や文化・芸術活動の成果を発表する場の提供に努めるとともに、拠点となる施設の充実を図ります。

さらに、各地区に残っている有形無形の歴史的資料や伝統ある文化、芸能、祭りなどを後世に受け継いでいくため、地区における保存会等の自主的な取り組み、活動等を支援するとともに後継者の育成にも努めます。

(5) スポーツ・レクリエーションの振興

スポーツやレクリエーションは健康で生き生きとした生活を送る上で、また、青少年にとっては心や身体の発達を図る上で、重要な役割を果たしています。

このため、スポーツ施設等の整備、充実を図るとともに、スポーツやレクリエーションの普及や振興を目的として設立された団体等の取り組み、活動を支援し、だれもが、自分の生活にあわせて、気軽にスポーツやレクリエーションを楽しむことができる環境づくりに努めます。

さらに、普及、啓発を図るため、スポーツ教室の開催や指導員の育成、養成に取り組むとともに、全国大会やスポーツイベントなどの誘致に努め、より高いレベルの競技を観る機会等を提供していきます。

このほか、新たなスポーツ・レクリエーション振興策として、地域に密着した「総合型地域スポーツクラブ」の設立等について支援します。

総合型地域スポーツクラブ...各地域でそれぞれ育み、発展させていくスポーツクラブ。「私益」ではなく、地域住民に開かれた「公益」を目指した、経営意識を有する非営利的組織。

(6) 国際化への対応

経済、産業活動、教育、スポーツなど、さまざまな分野で国際化が急速に進展しており、生活の中においても国際社会に対する理解が求められる場面が多くなっています。また、積極的に諸外国の文化に触れることにより、私たちの生活をより豊かなものにすることもできるようになっています。

このため、姉妹都市との交流や、市内在住の外国人との交流、市民団体による国際交流の支援、企業や経済団体による経済交流の促進など、さまざまな分野で国際交流を推進します。また、青少年の海外派遣にも、積極的に取り組みます。

さらに、世界の中の周南市であるとの認識の下に、環境問題への取り組みなどに関する情報の積極的な発信、海外からの来訪者への情報の提供、受け入れ体制の充実など、国際化に対応したまちづくりを進めます。

目標5 一人ひとりが尊重されるまちづくり

私たちが元気で輝いているためには、一人ひとりがその望むところに従い、活躍の場が与えられ、その能力がまちづくりに活かされていくことが大切です。

このため、市民一人ひとりがお互いを尊重し、いっしょになってさまざまな問題に取り組むことのできる社会の実現を目指すとともに、市民と行政が一体となってまちづくりを進める新たなしくみを構築していきます。

(1) 市民と行政のパートナーシップの構築

平成12年(2002年)に地方分権一括法が施行され、それぞれの地域が、主体的に、個性あるまちづくりに取り組んでいくことができるようになりました。周南市の個性は、その地勢や産業構造に加え、市民一人一人の活動によって作り上げられていくものです。

このため、市民と行政とのパートナーシップによる施策の展開を基本として、市民との協働によるまちづくりを積極的に推進し、一人ひとりが輝き、主役となる「私たちが輝く周南市」の実現を図ります。

即ち、情報公開を積極的に推進して情報の共有化を図り、施策の企画段階から市民がまちづくりに参画しやすい環境づくりに努めます。また、協働の主体となるボランティア活動やNPO、あるいは、まちづくり活動や地域のコミュニティ活動などの自主的・主体的な取り組みを支援するとともに、市職員も積極的に参加するよう努めます。

(2) 人権の尊重と男女共同参画社会の実現

子どもから高齢者まで、市民一人ひとりが生き生きと活躍できる地域づくりを進めていくには、すべての人が持つ普遍的権利である基本的人権が尊重される社会の実現が必要です。

このため、人権教育・人権啓発を推進し、相談・支援体制の充実を図るとともに、行政各分野の連携の下に、人権を尊重した事業、施策の展開に努めます。

また、平成16年(2004年)に施行した「男女共同参画推進条例」に沿って、家庭、職場など、さまざまな場所、分野で男女の共同参画が図れるように、男女平等意識の啓発・普及や条件整備、環境づくりに努め、男女がともに責任を担う社会の実現を図ります。